

Title	寄贈交換圖書雑誌目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1931
Jtitle	史学 Vol.10, No.3 (1931. 9) ,p.210(552)- 211(553)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19310900-0210

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

造宮錢請取ノ命

天正六年戊刀二月造宮手形

後水尾天皇宸筆御和歌

その外、鏡、鈴等もあつたが、有名な寶神祝印が帝室博物館さかへ提出されてゐて拜見できなかったのは最も残念なことであつた。

秋社を辭した我々は秋の晝下りの暑い日中を春社へさ長い大通りを歩いた。上社下社の二宮の中で靜寂さを求めればこの春社であらう。然し其の參道に比較し其の境内は小規模である。此社の『御柱』は『春』と刻まれてある。歸路は三々伍々參道の傍の柳、流れ、亦此地の特色である繭倉庫の土藏作りに目を轉じ、紡績工場と湖水とを有する諏訪の地を離れるのである。

中秋の午後の熱さに幾らか物憂さを感じた。然し其の物憂さも人間、喧騒、ネオン・サインの交流、錯綜の巷へ歸る期待は我々を元氣にさせ、旅行の行程の終るのが惜まれもした。然し旅行は直ぐに終るのである。改札し初めた。やがて四時三十五分發の飯田町行き列車は眞黒になつた身體を下諏訪の構内に入れた。

汽車は六人を受けて東京へさ長い餘音の殘る氣笛を投げ棄て、出發する。秋の夕は暮易く、靄が一杯かゝつてゐる。トランプにも飽きた四人は煙草、菓子、雑談とテンポを進めた。夜は冷えるレインコートの襟を立て、吐絶へる雑談の間に規則的な週期的な轍の軋る音に夜の深さを知る。硝子を拭いて窓越に空を見れば星が奇麗である。明日も澄み切つた青空を訪れて來るだらう。我々は明日の事を考へながら、夢の和やかな世界に搖られて行つた。

「終り」(篠崎記)

寄贈交換圖書雜誌目錄

Ex Libris y Bibliotecas de Mexico La gestion Diplomatica del

Doctor Mora.

Bibliografia de la Reforma la Intervencion y el Imperio.

Bibliografia de la Revolucion Mexicana La Opinion universal sobre

La Doctrina Estrada.

以上 secretaria de relaciones exteriores Mexico. 以下學譯

安岡正篤著 日本武道と宮本武藏 金 雜 學 院

尾崎久彌著 江戸文學研究 三卷別冊第二第三 尾 崎 久 彌 氏

武谷水城氏述 元寇の梗概 海軍協會福岡支部

日本海々岸に於ける石器件出銅鑛の研究 直良石器時代

集刊 第二本第二分 國立中央研究所

安岡正篤著 政治と改革 金 雜 學 院

國史回顧會紀要 六、七 國史回顧會

龜井一雄著 大儒佐藤一齋 金 雜 學 院

延喜式内 上野十二社巡拜の栞 上毛郷土史研究會

防長史學 二ノ一 防 長 史 談 會

備後史談 七ノ七、八、九 備 後 郷 土 史 會

蝦夷往來 四 尙 古 堂 書 店

風俗研究 一三四、一三五、一三六 風 俗 研 究 會

福岡 五〇 東 西 文 化 社

言語と文學 六
 飛驒史談 一〇ノ九
 伊豫史談 六六
 上毛及上毛人 一七一、一七二、一七三
 神社協會雜誌 三〇ノ七、八、九
 人類學雜誌 四六ノ七、八
 國學院雜誌 三七ノ七、八、九
 考古學雜誌 二一ノ七、八、九
 國民經濟雜誌 五一ノ一、二、三
 考古學 二ノ二、三
 郷土研究 五ノ三、四
 かたな 三六二、三六三、三六四
 民俗學 三ノ七、八
 密教研究 四二
 南方土俗 一、二
 歴史教育 六ノ四、五、六
 龍谷史談 八
 龍谷大學論叢 二九八
 歴史と地理 二八ノ一、二、三
 歴史地理 五八ノ一、二、三
 下野史談 八ノ三、四
 史蹟名勝天然記念物 六ノ七、八、九
 神道學雜誌 一〇

寄贈圖書交換雜誌目錄

新高堂書店雜誌部	宗教と藝術 一二ノ三	龍谷大學文藝部
飛驒史談會	史學研究 三ノ一	廣島史學研究會
伊豫史談會	仙臺郷土研究 一ノ七、八、九	無一文館
上毛郷土史研究會	史學雜誌 四二ノ七	史學會
神社協會	史潮 一ノ二	大塚史學會
岡書院	史苑 六ノ四、五	立教大學史學會
國學院大學雜誌部	史林 一六ノ三	史學研究會
考古學會	山陰史蹟	山陰史蹟協會
神戶商業大學	埼玉史談 二ノ六	山陰史蹟協會
商學研究所	史前學雜誌 三ノ四	埼玉郷土會
東京考古學會	東洋考古 七ノ一	史前學會
郷土研究社	旅と傳説 四ノ七、八、九	東洋考古學會
中央刀劍會	刀劍研究 一七ノ七、九	三元社
民俗學會	東洋文化 八五、八六、八七	南人社
高野山大學	筑紫史談 五三	東洋文化學會
密教研究會	土佐史談 三六	筑紫史談會
南方土俗學會	東洋學報 一九ノ二	土佐史談會
四海書房		東洋協會
龍谷大學史學會		
龍谷大學論叢社		
星野書店		
日本歴史地理學會		
下野史談會		
史蹟名勝記念物		
保存協會		
神道學會		